

SAJ教育支援視察ツアー 卒業研修 ～たくさんの出会いから学ぶ事～



身だしなみを整えていただきました

皆さん、こんにちは。日本は今年の夏猛暑が続いていたようですが、9月に入り暑さも和らぎ過ごしやすい季節になったことかと思えます。カンボジアでは今月中旬から一ヵ月半の夏休みに入っていますが、子どもたちは塾や園での勉強、毎日の農作業と暑さに負けず継続して頑張っています。

今回のドリーム通信では、8月に開催されたSAJ教育支援視察ツアー、そしてアンコールワット寺院等への卒業研修の様子についてお伝えします。

SAJ教育支援視察ツアー

8月17日から19日の3日間SAJ教育支援視察ツアー（以下「ツアー」）が開催され、たくさんのお客様が来園されました。

今回はツアー参加者様来園前にファーストカット様（ヘアカット専門店）が来園され、子どもたち、職員全員の髪を切っていただきました。初めはカットされる事が不安そうだった子どもたちも、切り終えて鏡に映る自分の姿を見て満足気な表情でした。また、カットを終えた後には子どもたちと元気いっぱい遊んでいただきました。

そしてツアー参加者様来園当日、子どもたちは門の前でお客様をお出迎えし、久しぶりに会ったお客様や里親様、そして初めてお会いしたお客様に元気に挨拶をしました。

センターホールにてお客様の歓迎式を開催し、今回もお客様への感謝の気持ちを込めて子どもたちから伝統舞踊や伝統楽器の演奏を披露しました。その後はお客様と一緒に昼食をとったり、自由時間にはお客様に絵本を読んでもらったり、ボールと一緒に遊んだり、短いながらも濃密な時間を過ごすことが出来ました。最後には、また元気な姿で会えるようにと皆でお客様のお見送りをしました。

こうしてたくさんの方と触れ合うことが出来た子どもたちには、園で毎日元気に生活する事が出来るのは、たくさんの方のご支援があるからという事を日々伝え、勉強や園の仕事をしっかりと頑張り、将来は自分の周りの人たちを手助けできる人になるように、これからも指導していきたいと思えます。



お客様を拍手でお出迎え



たくましく、美しく踊ります

母国の世界遺産アンコールワットへ

8月19日から21日まで、中学3年生から高校2年生は卒業研修でシェムリアップに行ってきました。子どもたちには自分たちの国をより深く知ってもらう為に、事前学習としてアンコールワットやカンボジアの歴史について調べ、レポートを書いてもらいました。また、今回の卒業旅行には日程の都合で代表理事が来られず、コン・ソレン（高校2年生・女子）の里親様とSAJ教育支援ツアーに参加者様、そして住田事務局長に同行していただきました。

出発前日には代表理事に会いにプノンペンまで行き、「自分の国をしっかりと勉強して、自分の国をもっと好きになりなさい」とお言葉をいただき、一人一人にお小遣いをもらいました。

19日の昼に園を出て、夕方無事にシェムリアップに到着し、夜はナイトマーケットで代表理事にいただいたお小遣いで買い物を楽しみました。学校に必要な時計を買ったり、里親様や園にいる兄弟へお土産を買う子どももいました。

2日目の20日は早朝に出発しアンコールワットの朝日を見に行きました。子どもたちは朝日で美しく照らし出されるアンコールワットの姿を、しっかりと目に焼き付けていました。

その後もアンコールトム、タプローム、バンテアイスレイを見学し、ガイドさんや事前学習の内容を発表する他の子の説明を熱心に聞きメモを取っていました。

夕方、一緒にシェムリアップを回って下さった里親様が日本に帰るため、空港までお見送りをしました。一人一人握手を交わし、夢に向かって頑張ってもらいたい等それぞれ激励のお言葉をいただきました。また最後に、子どもたちが市場で選んだプレゼントをお渡しすると、とても喜んでいただき、最後は涙ながらのお別れとなりました。

3日目の21日はトンレサップ湖の水上村とカンボジア文化村の見学をし、昔や今のカンボジアの暮らしや文化、歴史に触れることが出来ました。その後は昼食をとって園に戻りましたが、夜9時頃に園に着いた時、皆クタクタに疲れきっていましたが、待っていた子どもたちからの質問攻めにあい、嬉しそうに自分たちの見てきたものを説明していました。

翌日、子どもたちに印象に残っている場所と理由を発表してもらおうと、それぞれに色々な感想を持っていたことが分かりました。子どもたちは今回アンコールワットに行き、昔のカンボジア人の力強さを感じ、今は他国の支援に頼っている現状を省みて、それを変えていくためには「教育が必要」という答えに改めて気付くことが出来ました。国を作って行くためにしっかりと勉強を頑張り、自分たちで自分の国を豊かにし、カンボジアの明るい未来を作ってほしいと思います。



念願のアンコールワットへ！



里親様とナイトマーケットで買い物



ガイドさんの説明をしっかりと聞きます



ボートで水上村を見学